

寿楽つうしん

平成26年6月号

平成26年6月発行

発行 老人福祉センター菊名寿楽荘
発行責任者 富田 公道
横浜市港北区菊名3-10-20
TEL 045(433)1255

春は花 夏ほととぎす 秋は月
冬雪さえてすずしかりけり 道元禪師

15日は「父の日」

6月の第3日曜日は「父の日」です。でも、母の日と違って、「父の日」の影の薄いこと。そもそも、父の日は、1909年にアメリカ・ワシントン州スポケーンのソノラ・スマート・ドッドが、男手1つで自分を育ててくれた父を讃えて、教会の牧師にお願いして父の誕生日である6月に礼拝をしてもらったことがきっかけとされています。彼女が幼い頃南北戦争が勃発。父ウィリアムが召集され、彼女を含む子供6人は母親が育てることになりましたが、母親は過労が元でウィリアムの復員後まもなく亡くなりました。以来、子供たちは男手1つで育てられましたが、ウィリアムも子供達が皆成人した後、亡くなりました。

最初の父の日の祝典は、その翌年の1910年6月19日にスポケーンで行われました。当時すでに母の日が始まっていたため、彼女は父の日もあるべきだと考え、「母の日のように父に感謝する日」と牧師協会へ嘆願して始まりました。1916年、アメリカ合衆国第28代大統領ウッドロー・ウィルソンは、スポケーンを訪れて父の日の演説を行い、これにより父の日が認知されるようになりました。1966年、アメリカ合衆国第36代大統領リンドン・ジョンソンは、父の日を称賛する大統領告示を発し、6月の第3日曜日を父の日に決めました。1972年になり、アメリカでは正式に国の記念日に制定されました。

母の日の花がカーネーションなのに対し、父の日の花はバラ。ソノラ・スマート・ドッドが、父の日に父親の墓前に白いバラを供えたからとされています。1910年の最初の祝典の際には、YMCAの青年が、父を讃えるために、父が健在の者は赤いバラ、亡くなった者は白いバラを身につけると伝えられています。

でも、中にはほとんど親不孝者もいるようで...。父親が息子に説教しました。「親のあるのはありがたい事じゃ。どれほど金を積んでも、親は買えぬぞ」。

息子が答えました。「売ろうと思っても売れないよ……!？」



今月の和歌の解説

【解釈】春は桜の花、夏のほととぎす、秋の月、冬は雪がつめたく冴えて四季はおのずとめぐる。思えばなんとすがすがしいことか。

【補記】どうげん。鎌倉時代の正治2年(1200)京都に誕生。父は鎌倉幕府の左大臣久我道親、母は藤原基房の娘といわれています。8歳で母の他界に逢い世の無常を観じて比延山横川に出家しました。その後、京都の建仁寺に入り、24歳の春、師明全とともに中国に渡り天童山の如浄禪師について修行し、悟りを開いて釈迦牟尼仏より51代目の法灯を継ぎ、28歳のときに帰朝しました。帰朝後京都の建仁寺に入り、その後宇治の興聖寺を開創しました。寛元元年(1243)鎌倉幕府の六波羅探題波多野義重公のすすめにより、越前国志比の庄吉峰寺に弟子懐辨禪師(永平寺2世)等とともに移りました。

曹洞宗を開いた道元禪師は、正法眼蔵「現成公案(げんじょうこうあん)」の中で「仏道をならうというは自己をならう也。自己をならうということは自己をわすること也。自己をわするとは万法に証せらるるなり。万法に証せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり」と述べています。禪の心随を説いたものです。その禪とは釈迦の悟った仏(ほとけ)の御いのち(おんいのち)であり、それはまた本当のころそのものにほかならないとします。上記の言葉は日本の四季を道元禪師が永平寺の夜空を眺めていて詠ったものです。自然の美をありのまま、素直に賞でる気持ちがあるまま仏の御いのちに通じることをあらわして、その言葉自体が禪を説いています。

卵とサルモネラ菌

サルモネラ菌は、飼料などと一緒に鳥の腸管に侵入します。鳥の腸管内のサルモネラ菌は当然、産道を通して産み落とされる卵の殻の表面を汚染することになります。殻の表面に糞便が付着している場合はもちろん、付着していなくてもサルモネラ菌に汚染されていることがよくあります。卵殻には空気が入る程度の小さな穴が空いていますから、表面に付着したサルモネラ菌が、その穴を通して卵の中央に侵入します。しかし、卵には自然に備わった酵素の働きによる殺菌力があるので、卵中の菌は簡単には繁殖できませんが、卵の鮮度が下がって殺菌力が減るにつれて、次第に増えていきます。ですから、新鮮であれば、たとえサルモネラ菌が入っていても中毒を起こすことは考えられません。

やはり、卵は生で食べる時は新しいものでなければなりません。くれぐれも生卵には気をつけて!





6月のスケジュール



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
卓球開放	はじめての太極拳	看護実習 つるし雑		横浜郷土史	初心者英会話 初心者水彩画	
8	9	10	11	12	13	14
卓球開放	茶道入門	看護実習	初心者ウクレレ 健康相談	歌声教室 初めての生け花	初心者英会話 初心者健康麻雀	歴史講座
15	16	17	18	19	20	21
卓球開放	はじめての太極拳	看護実習 つるし雑	栄養相談	横浜郷土史	初心者英会話 初心者水彩画	
22	23	24	25	26	27	28
卓球開放	茶道入門	休館日	初心者ウクレレ 健康相談	歌声教室 初めての生け花	初心者健康麻雀	歴史講座
29	30					
卓球開放	卓球開放					

6月10日は時の記念日

1920年に東京天文台と生活改善同盟会によって制定されました。日本国民に「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」と呼びかけ、時間の大切さを尊重する意識を広めるために設けられました。記念日ではありませんが国民の祝日ではありません。『日本書紀』天智天皇十年四月辛卯条(天智天皇10年4月25日(グレゴリオ暦671年6月10日))に、「置漏剋於新臺。始打候時動鐘鼓。始用漏剋。此漏剋者天皇爲皇太子時始親所製造也。云々。」(漏剋を新しき台に置く。始めて候時を打つ。鐘鼓を動かす。始めて漏剋を用いる。此の漏剋は、天皇の皇太子に爲(ましま)す時に、始めて親(みづか)ら製造(つく)りたまふ所なりと、云々(うんぬん)。とあり、日本初の時計が鐘を打った日が6月10日であることからこの日となりました。なお、「漏剋」すなわち「漏刻」とは水時計のことです。



Hydrangea 紫陽花(アジサイ)の花言葉

花名のアジサイの語源は「藍色が集まったもの」を意味する「あづさい(集真藍)」が有力であるとされています。江戸時代に長崎の出島に滞在して医療と博物研究に従事したシーボルトは、愛する「お滝さん」にちなみ「オタクサ」という名をアジサイにつけました。花言葉の「移り気」はアジサイの花の色が開花後に変化することからきています。

アジサイ全般の花言葉は、「移り気」「冷淡」「辛抱強さ」「冷酷」「無情」「高慢」 ※西洋での花言葉・Language of flowers 「heartlessness(冷酷)」「boastfulness(高慢)」「You are cold(あなたは冷たい人)」

庭園や公園などでもよく見かける、小さな花が球状になったセイヨウアジサイは、ヨーロッパで品種改良された日本原産のアジサイを逆輸入したものです。日本原産のガクアジサイ(右の写真)は、額縁のように周囲に花をつけます。



6月はジュニアフライド! ああ、結婚式!!

結婚式は、婚姻を成立させるため、もしくは確認するための儀式であり、古くから世界各地に見られます。地域により様々な様式があるようですが、どの地域でも喜びの儀式であるといわれています。アメリカでは「人種の垣塙(るつぼ)」とも言われ、結婚式も多種多様です。州によって、結婚制度も結婚可能な年齢も一定していません。市役所ではシヴィル・ウェディングと呼ばれる結婚式が広く行われています。普段着による結婚式も多いようです。また、カトリック教会においてはミサや聖体拝領などが行われています。

これも、アメリカでの話。

牧師さんが結婚式で列席者に向かって話をしていました。「皆さんは花嫁が白い服を着ているのはなぜですか知っていますか? 白は幸福を象徴する色です。純潔のシンボルです。彼女にとって最も喜ばしい日に最適な色なのです。」それを聞いた列席者の一人が手を上げて牧師さんこう聞きました。「では、なぜ花嫁は黒い服を着ているんです? 」

【編集後記】

